

Blackpool and the Fylde College Cloudpath® Enrollment System を使った デジタルキャンパス支援事例



お客様

Blackpool and the Fylde College

所在地

イングランド・ランカシャー・ブラックプール

概要

- ・所在地：イングランド・ランカシャー・ブラックプール
- ・ランカスター大学関連機関
- ・政府指定のNational Beacon of Excellence
- ・学生の成功率92.9%を誇るイングランド最優良大学
- ・4つのメインキャンパス全体で22,000人の学生が在籍

条件

無線接続の単純化と標準化、Chromebook™ 展開サポート、デジタル学習に対応した大学作りのミッションをサポート。

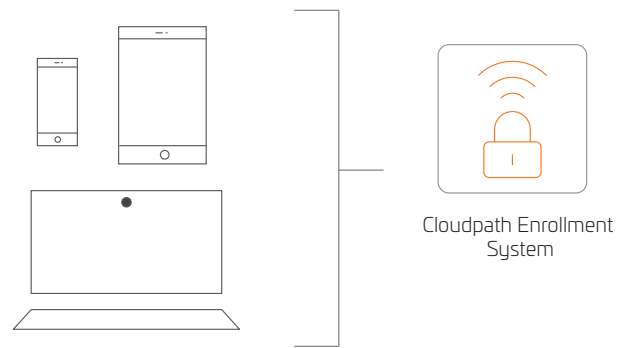


背景

Blackpool and The Fylde College (B&FC) の ICT (情報通信技術) サービススマネージャーであるニック・ライト (Nick Wright) 氏は、同大学に着任した際、認証システムやセキュリティシステムも含めた同大学の無線ネットワークが、未だに 8 年前のテクノロジーをベースとしている事実と直面しました。ネット接続は不安定で、IT スタッフはログイン用暫定アカウントの作成対応に追われていました。このような状況を改善し、ユーザ自身で対処できる方法を確認し、時間や場所に囚われないデジタル学習を推進するという同大学の目標をサポートするため、ライト氏とチームはより優れた無線ネットワークソリューションがないか調査し始めました。

接続性の向上とセキュリティの強化

ライト氏は次のように述べています。「ユーザは何度も再認証を行わなければなりませんでした。例えば別の建物に移動し、信号が切れただけでも再認証が必要でした。ユーザが 1 日に 10 ～ 20 回も認証を行うということは、ICT 部門が週 10 時間もアカウント作成を行っているということです。また、セキュリティ自体も問題でした。WPA2 PSK (事前共有鍵) が名刺に刻まれていたのです。」そして、B&FC の全キャンパスに安全な Wi-Fi を提供するためのソリューションについて調べていたところ、Cloudpath® Enrollment System が様々な教育機関に選ばれていることを知ったのです。



ライト氏は、「特にセルフ登録機能や証明書ベースの認証が、B&FCに適しています。ユーザに半年ごとのパスワード変更を義務付け、ユーザが自ら使用デバイスを登録できるようにしたため、ICT スタッフの対応時間が大幅に削減されました。」と言います。

接続手順は簡単ですが、ユーザがデバイスを登録する際に必要に応じて相談できる「Wi-Fi エキスパート」やアシストユーザとして、学習リソーススタッフのサポートを置くことにしました。「このサポートにより、ユーザが IT 部門に相談に来るのは深刻な問題が発生した場合のみとなったため、ネットワーク接続サポートの負担が減り、在籍する 20 人の ICT スタッフは別のプロジェクトに集中できるようになりました。」とライト氏は言います。

Chromebooks 展開イニシアチブのサポート

B&FC は、ユーザエクスペリエンスを向上させるため、インフラアップグレードのための 3 か年計画を実施しました。このイニシアチブの一環として、無線コントローラー、コアシッチ、アクセスポイントのアップグレードと共に、Cloudpath Enrollment System との連携が行われます。ライト氏は次のように述べています。「手元のデバイスのユーザエクスペリエンスを向上させることも目指しました。PC よりも Chromebook の方が遥かに費用対効果が高いことがわかったため、Chromebook を大量に購入し、RUCKUS のサポートを得て、別途 Chromebook 用のネットワークを構築しました。RUCKUS は、Chromebook 向けネットワークのデザイン・構成や証明書の展開に関するベストプラクティスを共有してくれました。RUCKUS の仕事は本当にあったという間でした。RUCKUS のテクニカルサポートがなければ、今、この段階まで辿り着けていないでしょう。Cloudpath の無線接続は、ユーザに統合型エクスペリエンスを実現するという大学の取り組みの中心でもあります。

優れた認証機能が搭載された信頼性の高い、堅牢な無線システムは、現代社会のあらゆる活動に不可欠です。」

無線接続を利用している進行中のプロジェクトの 1 つに、共通のポータルからアプリケーションなどの提供に対応する、Citrix® Systems 製品ベースの新規リモートアクセスソリューションとモバイル管理機能があります。ライト氏は、Cloudpath によって「必要とされるセキュリティやソフトウェアインフラが実現し、ユーザとデバイスの管理が可能になり、学生や教授陣が持ち歩くデバイスにインテリジェンスを送ることが可能になる」ため、統合型エクスペリエンスのビジョンが実現可能になると言います。

素早く投資を回収

同大学が Cloudpath から得られる最大の価値はセキュリティであるとライト氏は考えています。「以前よりもシステムの安全性が遥かに向上しました。現在のイギリスの情報セキュリティ関連法では、組織のデータ違反が発覚した場合、1 件あたり 50 万ポンド以下の罰金が科されます。そのため、無線ネットワークのセキュリティが保証されることは、私にとって最大のメリットです。」

「Cloudpath と無線接続は、ユーザ向けに統合型エクスペリエンスを実現するためのイニシアチブの中心部分です。」

ニック・ライト
Blackpool and The Fylde College
ICT サービスマネージャー

「ユーザが自分でデバイスを登録できる利便性」もメリットの1つです。IT サービスマネージャーとして、同部門のスタッフがログインアカウントの作成作業から解放されたことは、非常に大きなメリットです。他の多くのIT 部門と同様、何かを開発するよりも、何かを修正することに多くの時間が奪われていましたから。」

ライト氏はまた、Cloudpath ソリューションから非常に大きな投資回収率を期待できると言います。「同様に幅広い機能を提供する他のシステムも購入しましたが、すぐに元を取れました。Cloudpath ソリューションも同様だと思います。ソフトウェアのコスト、使用する期間、恩恵を受けられる人の数を考えれば、明らかに優れた価値があります。」

今後 Cloudpath ソリューションは、同大学が「デジタル学習に対応した大学」になるために重要なテクノロジーとなるでしょう。ライト氏は次のように述べています。「今後展開するサービスは、必ず可用性、コンテンツの品質、エクスペリエンスの品質を上げるものです。」

学生が、時間、場所、デバイスに囚われることなく、授業や学習コンテンツにアクセスできる、実質的に24時間無休体制の高等教育機関を目指します。簡単かつ安全な無線アクセスのビジョンをサポートするCloudpathのおかげで、B&FCは、学生が自宅やオフィスなど、どこからでも必要なものにアクセスできる大学になることができるでしょう。」

また、CloudpathはB&FCにとって戦略的な製品であると考えています。「従来型のITサービスデリバリーから脱却し、人々が自分のデバイスやツールを使って必要な作業を行えるようにすることが、未来に続く道です。優れたユーザエクスペリエンスを実現するという戦略的目標に不可欠な要素です。私にとって、Cloudpathソリューションは非常に戦略的なアプリケーションです。Cloudpathがなければ、この戦略的目標を達成することは、遥かに難しくなっていたことでしょう。」



COMMScope®

commscope.com

詳しくは、CommScopeのWebサイトをご覧くださいか、お近くの営業担当者までお問い合わせください。

© 2021 CommScope, Inc. All rights reserved.

「®」または「™」マークが付く商標は、それぞれCommScope, Inc.の登録商標と商標を意味します。本書はブランディングに使われることを唯一の目的として提供されており、CommScopeの製品またはサービスに関する仕様または保証を修正または補足するものではありません。CommScopeは最高基準の商業道徳と環境サステナビリティを約束しており、世界各地のCommScope施設の多くは、ISO 9001、TL 9000、ISO 14001を含む国際規格への適合認定を取得しております。CommScopeの使命に関する詳細については、www.commscope.com/About-Us/Corporate-Responsibility-and-Sustainabilityをご覧ください。

CS-115890-JA (06/21)